

令和6年 稲作情報 vol.3

※この資料は、令和6年4月24日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

※この資料は、県ホームページでも公開しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugijyutujyohou.html>



南会津農林事務所農業振興普及部	Tel 0241-62-5262
南郷普及所	Tel 0241-72-2243
J A会津よつば田島営農経済センター	Tel 0241-63-1172
南郷営農経済センター	Tel 0241-72-2554
下郷資材センター	Tel 0241-69-1088
只見資材センター	Tel 0241-84-2214

- 代かきは不陸を無くすため丁寧に行いましょう。
- 田植えは風のない穏やかな日に行いましょう。
- 稲の生育に応じた水管理をしましょう。
- 適切な病害虫対策を実施しましょう。
- 草種に応じた除草剤を使用しましょう。

<作業スケジュール（参考）>

	5月			6月		
	上	中	下	上	中	下
育苗	育苗管理			今回の内容		
本田準備	(基肥施肥)・代かき					
田植え	Vol.2 参照			田植え		
雑草防除				初期剤・初中期一発剤の散布		

※ 作柄判定ほ（田島・ひとめぼれ中苗）の田植期平年値（5/24）から例示。

1 気象情報（気象庁1か月予報（4/25発表）から抜粋要約）

向こう1か月（4/27～5/26）の平均気温は平年より高い見込みです。特に、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。日照時間及び降水量はほぼ平年並の見込みです。また、天気は数日の周期で変わる予報です。

2 田植え前の準備

- 均平はとれていますか？

不陸を無くすために、代かきは浅水でゆっくり行います。均一な生育や、除草剤の効果を十分に発揮させる上で重要です。

- 漏水はありませんか？

モグラやネズミの穴がないか、見回りを実施します。

3 田植え・水管理

- 田植え早限の目安は、苗が活着する温度である平均気温13度（田島で5月13日頃）です。
- 雑草の発生を抑えるため、代かきから田植えまでの日数が空きすぎないようにしましょう。やむを得ず日数が空いてしまう場合は、初期剤で雑草の発生を防ぎます。
- 植え付け本数は1株当たり3～4本とし、極端な粗植は避けます。
- 深植えは下位葉の分けつ発生を妨げるので避けます。

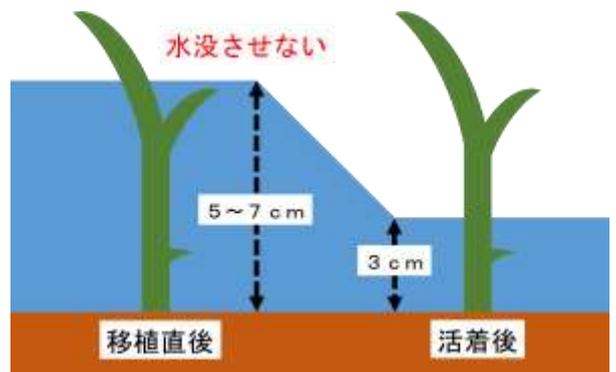
(1) 田植え～活着（田植え後5～10日）

活着までは深水管理（水深5～7cm、苗先が少し出る程度）とします。

(2) 活着後（田植え後約1か月）

分けつを促すため浅水管理とします。

- 日中…3cm
- 夜間…5cm
- 寒い日や強風日は深水管理（7～8cm）



4 初期害虫及びいもち病対策

薬剤名	使用時期	育苗箱1箱あたりの使用量	使用方法	適用病害虫	本剤の使用回数
Dr. オリゼパディート粒剤	緑化期～移植当日	50g	育苗箱の上から均一散布	いもち病 イネズグウムシ イネトヨイシ	1回
	移植3日前～移植当日	高密度に播種する場合は50～100g			
トリプルキック箱粒剤	移植3日前～移植当日	50g	育苗箱の上から均一散布	いもち病 稲こうじ病 紋枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ（ごま葉枯病菌） イネズグウムシ イネトヨイシ	1回
		高密度に播種する場合は50～100g			

※ 育苗箱は1箱30×60×3cm、使用土壌約5Lを基準。

※ 置き苗はいもち病の発生源となるため、早急に除去してください。

5 雑草防除

(散布後1週間は必ず止水し、除草剤の処理層を作りましょう)

適用雑草を確認し、除草剤を選択します。また、ノビエの葉齢を目安として使用時期を逃さないように施用します。

分類	薬剤名	使用時期	使用量 (/10a)	使用方法	適用雑草	本剤の使用回数
初期剤	先陣 1 キロ粒剤	移植時	1kg	田植同時散布機で施用	一年生雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離 モトダカ ハラモダカ ホタルイ マツバイ	1回
		植代後～移植 7 日前 または移植直後～ノビエ 1 葉期 (ただし、移植後 30 日まで)		湛水散布または無人航空機による散布		
	エリジャン乳剤	植代後～移植 7 日前まで	300ml	原液湛水散布	一年生雑草 ハラモダカ ホタルイ マツバイ	1回
		移植直後～ノビエ 1 葉期 (ただし、移植後 30 日まで)				
初中期一発剤	アップレ Z ジャンボ	移植後 3 日～ノビエ 3 葉期 (ただし、移植後 30 日まで)	パック 10 個 (400g)	水田にパックのまま投げ入れる	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離 エゾノヤヌカグサ	1回
	ベッカク 1 キロ粒剤	移植時	1kg	田植同時散布機で施用	一年生雑草 多年生雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	1回
移植直後～ノビエ 3 葉期 (ただし、移植後 30 日まで)		湛水散布				

◎ 春の農作業安全運動実施中 (期間 4 / 1 ~ 5 / 31)

春はトラクターを利用する機会が多くなり、農作業事故が発生しやすくなります。転落・転倒に注意して作業を進めましょう。

次回発行は5月下旬頃(水管理、雑草・病虫害防除について)を予定